

水門・陸閘等^{りくこう}について

水門・陸閘等は海岸堤防等と一体的に整備される操作施設であり、津波・高潮等の襲来時に閉鎖することで海水等の侵入を防ぎ、浸水被害から海岸背後にある人命及び資産を守る施設です。

(水門)

河川や水路を堤防等が横断する箇所に設置される施設であり、閉鎖することで、堤防等と一体となって海水の侵入を防止する機能を発揮します。また、開放することで不要な内水を排出する機能もあります。

(樋門、樋管)

海・河川への排水口に設けられている施設で、共に排水のための機能を有しています。一般的に、樋門は通水断面が堤防等に埋設されている径間が小さい施設であり、樋管は更に規模が小さい施設です。

(陸閘)

閉鎖することで海水の侵入を防止するとともに、開放することで堤防等の海側にある港湾、漁港、海浜等を利用するために人や車両等が堤防等を横断できるようにする施設です。



水門の設置例 (静岡県沼津港海岸)



樋門の設置例 (青森県百石海岸)



陸閘の設置例 (静岡県焼津漁港海岸)



陸閘の設置例 (愛媛県池海辺海岸)